

登録コード	E7205300	開講年度	2026			
授業科目	安全教育概論				担当教員	瀧 直也
英文授業名	Introduce to Safety education				副担当	結城 匡啓・橋本 政晴
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	水曜・2時限	対象学生
講義室	教育E201	授業形態	講義	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】
	26Eカリ，25Eカリ，24Eカリ，23Eカリ，22Eカリ，21Eカリ，20Eカリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				⇔	安全教育に関わる知識を理解し、その知識を用いて野外活動・スポーツ活動に取り組むことが出来るようになる。
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				⇔	頻繁に発生する自然災害から自らの命を守るための安全教育ができるようになるため、安全教育に関わる知識を理解し、過去の事例から実践方法について学ぶ。
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、環境共生、健康長寿、防災減災					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	安全教育に関する用語や社会的背景，教育課題・期待される成果，行政施策等について，講義・関連データの提示・学生の経験に基づくディスカッションを通して理解を深める。					
(5)授業計画	第1回：ガイダンス／安全教育とは 第2回：学校における安全教育 第3回：水辺活動におけるリスクマネジメント 第4回：雪上活動におけるリスクマネジメント 第5回：スポーツにおける安全教育①急性スポーツ障害 第6回：スポーツにおける安全教育②慢性スポーツ障害 第7回：スポーツにおける安全教育③スポーツ障害 第8回：スポーツにおける安全教育④まとめ 第9回：他者の痛みは理解することができるか 第10回：他者の安全／危険は理解することができるか 第11回：安全の社会性：社会関係のなかの安全／危険 第12回：気象と自然災害 第13回：事例から学ぶ（東日本大震災） 第14回：授業のまとめ 定期試験					
(6)成績評価の方法	・小レポート（計50％）および、期末レポート（50％）で総合的に評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀，89-80％ 優，79-70％ 良，69-60％ 可，59％以下 不可。					
(7)成績評価の基準	・小レポートや期末レポートにおいて，授業で示した例題と同レベルの問題が解ければ「水準にある」，応用問題が解ければ「やや上にある」，やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある」，例題からは難しい応用問題が解ければ「卓越している」と評価する。					
(8)事前事後学習の内容	・授業の最後に、次週の事前課題を提示する。 ・複数回の授業ごとに授業内容の理解を確認するため小レポートの提出を求めるため、前週の授業内容を毎回復習してから授業に臨むこと。					
(9)履修上の注意	・予習、復習などの授業時間外学習を適切に行うこと。					
(10)質問，相談への対応及び連絡先	メールにて受付ける。メールアドレス：taki@shinshu-u.ac.jp					
【教科書】	適宜資料を配布する。					
【参考文献】	授業内で必要に応じて紹介する。					